

平成24年1月24日
東北経済産業局

平成23年度「次世代エネルギーパーク」に尾花沢市を認定！

～大正ロマン漂う再生可能エネルギーパーク～

資源エネルギー庁では、昨年度に引き続き、地方自治体等が策定した「次世代エネルギーパーク」の計画を公募し、平成23年度は8件を認定しました。

東北地域では、山形県尾花沢市からバイオディーゼル燃料を使用するレトロ調ボンネットバスや雪氷冷熱を活用した蔵風の冷房施設といった、地元銀山温泉の景観に配慮した大正ロマン漂う「尾花沢市次世代エネルギーパーク」が選定されました。

1. 「次世代エネルギーパーク」は、太陽光、風力、バイオマス等の新エネルギー設備や体験施設を整備し、実際に見て触れる機会を増やすことを通じて、日本のエネルギー問題への理解の増進を深めることを目的とするものです。
2. 本年度は、昨年7月26日から8月25日まで、都道府県、市町村、第3セクターの計画を公募し、外部審査委員会において審査した結果、以下の8件の次世代エネルギーパーク計画を認定しました。なお、東北地域においては、平成20年度に青森県六ヶ所村、平成21年度に宮城県全域が認定されており、今回の「尾花沢市次世代エネルギーパーク」が3例目となります。
(詳しくは別紙参照)
 - ① 尾花沢市次世代エネルギーパーク（大正ロマン再生可能エネルギーパーク）（山形県尾花沢市）
 - ② 伊達市次世代エネルギーパーク計画（北海道伊達市）
 - ③ 芽室町次世代エネルギーパーク（北海道芽室町）
 - ④ 富山市次世代エネルギーパーク（富山県富山市）
 - ⑤ 富士の国やまなし次世代エネルギーパーク（山梨県）
 - ⑥ 福山市次世代エネルギーパーク（広島県福山市）
 - ⑦ えひめ次世代エネルギーパーク（愛媛県）
 - ⑧ 平戸市次世代エネルギーパーク計画（長崎県平戸市）
3. 資源エネルギー庁及び東北経済産業局では、ホームページ上でこれらの計画を紹介する等、「次世代エネルギーパーク」の広報を行います。

(参考) 次世代エネルギーパークの詳細は以下の URL をご参照ください。

<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/park/index.html>

(本件にかかるお問い合わせ先)

東北経済産業局 エネルギー課長 泉 秀明

担当者：平山、横田

電話：022-221-4932 (直通)

尾花沢市「次世代エネルギーパーク」

大正ロマン再生可能エネルギーパーク

【実施運営主体】

山形県尾花沢市

(関係自治体、事業者との協議会を設置予定)

【場所】

山形県尾花沢市内全域

【パークの特徴】

再生可能エネルギーを活用した雪蔵やBDF燃料ボンネットバス等の各種施設を、尾花沢市の代表的温泉地「銀山温泉」にちなみ

『大正ロマン再生可能エネルギーパーク』と称して紹介することにより、尾花沢市民はもとより観光客の方々に対しても、再生可能エネルギー利活用の啓蒙・啓発を図る。

風力発電・手作りのお花畑「はながさの丘」

BDF精製施設: BDFはながさ会



太陽光発電・徳良湖温泉花笠の湯



中心施設



雪山冷房・尾花沢市役所



雪蔵・徳良湖温泉花笠の湯



明友庵雪蔵・(株)明友



BDFバス・(有)はながさバス



水力発電・山形県企業局



(参考)「次世代エネルギーパーク」計画認定状況

【23年度認定】

1. 伊達市(北海道)

豊かな森林資源を活用した木質ペレット製造施設や太陽光発電、風力発電などをネットワーク化。

5. 富山市(富山県)

地域でつくるエコエネルギーを小中学生を対象とした環境教育、エコツアーの拠点施設として活用。

2. 芽室町(北海道)

ペレット製造工場を中心にエネルギーの地産地消を推進。町内の観光施設等と連携し広くPR。

6. 福山市(広島県)

メガソーラーを中心に次世代エネルギー社会についての学習機会を幅広い世代に提供。

3. 尾花沢市(山形県)

代表的温泉地「銀山温泉」と連携し、再エネを活用した雪蔵やBDF燃料ボンネットバス等の各種施設をPR。

7. 愛媛県

メガソーラーから特産品を活かしたバイオマスまで地域特性を踏まえたユニークな施設が立地。

4. 山梨県

県内周遊を通じて、豊かな自然と、太陽光発電や水力発電など地域特性を活かした再エネを学べる。

8. 平戸市(長崎県)

良好な風況を活かした風力発電施設と歴史的観光資源を組み合わせた観光ルートを構築。

【九州・沖縄エリア】

26. 北九州市(福岡県)

「北九州エコタウン事業」の既存施設を活用し、展示・バスツアーを実施。

31. 熊本県

「くまもとソーラーパーク」を中心に風力、バイオマス等の様々な再エネを展開。

27. 大牟田市(福岡県)

石炭からメガソーラーまで、エネルギーの過去から未来を総合的に学べる。

32. 糸満市(沖縄県)

市庁舎の太陽光、観光農園の風力を拠点に体験型周遊コースを開発。

28. 玄海町(佐賀県)

太陽光・小型風力等のエネルギー学習・体験機能等を提供。

33. 宮古島市(沖縄県)

風力発電、太陽光発電、バイオマス等を体験できる学習・見学・視察コースを設置。

29. 大分県

日本一の発電規模を誇る地熱発電など様々な自然エネルギーに触れる機会を提供。

30. 長崎県

ハウステンボス内に太陽光発電システム、ソーラーシップ、ソーラーボート、コジェネレーションシステム等を設置。

【北海道・東北エリア】

1. 稚内市(北海道)

道内最大級のメガソーラー、日本最大級のウィンドファームを中核に観光と連携したメニュー構築を図る。

2. 札幌市(北海道)

円山動物園内をエネルギーパークとして、「いのち」と「エネルギー」の関わりをテーマに情報発信。

3. 六ヶ所村(青森県)

国内最大級のウィンドファームをはじめ「エネルギーの村、ろっかしよ」を全ての方々が体験できるツアーを実施。

4. 宮城県

豊かな自然を有効活用して、水力、地熱、林地残材のバイオマス、太陽光等の施設を連携し、PR。

【近畿エリア】

15. 東近江市(滋賀県)

バイオマス、太陽光発電等を中心とした設備の連携により、子供からお年寄りまで参加できる体験型学習を実施。

16. 大阪府

国内最大級の堺太陽光発電所をはじめ、日本が誇る次世代エネルギーの供給・開発施設を体感。

18. 洲本市(兵庫県)

菜の花プロジェクト、風力発電設備等を中心とした設備の連携。

17. 御坊市(和歌山県)

太陽光等の研究施設やメタンハイドレート・レアメタル等に関するパネル、マイクロ水力等のPR施設を備えた公園施設を整備。

【関東エリア】

5. 茨城県

最先端のエネルギーに関する研究機関を擁し、最新の太陽光発電研究、洋上風力発電所等の再エネの最先端に触れることができる。

6. 太田市(群馬県)

世界最大の太陽光発電団地や自然エネルギーを活用したエコハウスを通じて、再エネと省エネを体験。

7. 新潟県

商業用発電設備としては、全国初の雪国型メガソーラー、地域特性を活かした雪氷熱利用施設を展開。

9. 川崎市(神奈川県)

国内最大級の浮島・扇島メガソーラーをはじめ、「エコ暮らし未来館」では、地球環境と再エネが学べる。

10. 北杜市(山梨県)

北杜サイト太陽光発電所を中心に豊かな自然を活かしたエコツアー等を実施。

8. 千葉県

県内の公共施設や民間企業で導入されたエネルギー施設をネットワーク化し、見学、体験の場に。

11. 山梨市(山梨県)

バイオマス資源を中心とした地産地消型の活性化モデルを発信。

【中部エリア】

12. 岐阜県

太陽光・燃料電池・電気自動車による「半独立型エネルギー供給システム」を展開。

14. 三重県

太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素ステーション等の施設を連携。

13. 愛知県

太陽光発電、家庭用燃料電池、燃料電池自動車などを設置、導入。新エネを「見て、触れて、体験できる」新エネ体験館も設置。

【中国エリア】

19. 真庭市(岡山県)

市内一円のバイオマス関連施設を見学できるコースを観光ルート化。既存施設利用。

21. 北広島町(広島県)

豊かな自然を活かした小水力発電、太陽光発電設備等を連携。

20. 出雲市(島根県)

「出雲科学館」を中核施設として、市内の再エネ関連施設をネットワーク化。

22. 周南市(山口県)

太陽光、風力等を活用し、徳山動物園を環境学習、観光交流の拠点として情報発信。

【四国エリア】

23. 土庄町(香川県)

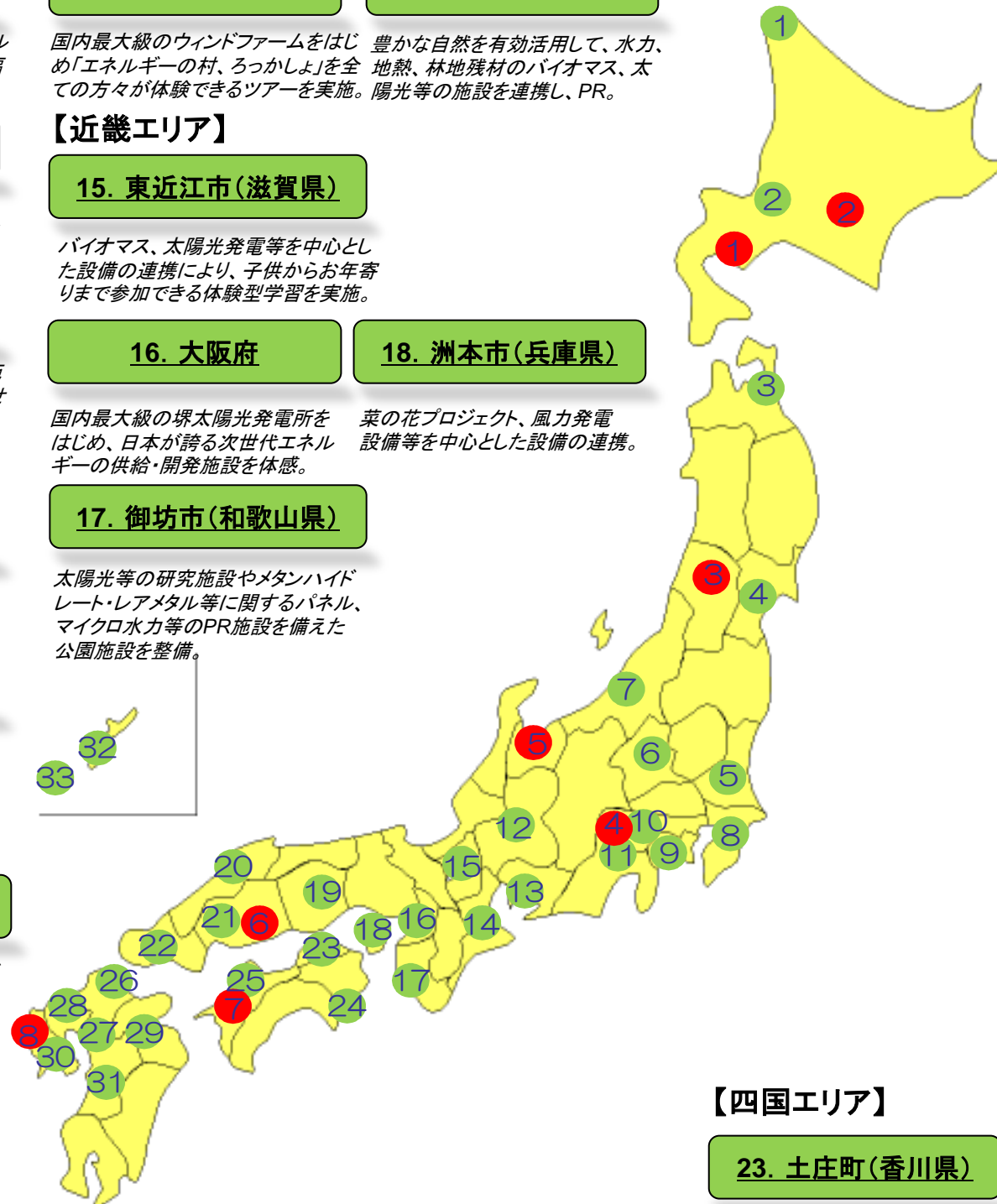
観光地の小豆島と隣の豊島に再エネを導入し、町民、来町者にPR。

24. 阿南市(徳島県)

市内7施設を拠点に太陽光、バイオマス等を整備。市民参加型パークづくりに取り組む。

25. 松山市(愛媛県)

四国初のメガソーラーをはじめ、気候特性を活かし、太陽エネルギーを中心とした再エネの普及を展開。



● 23年度認定 8件 ● 19、20、21、22年度認定 33件